

## 平成 26 年度オーリーブホットハウス 事業報告

### 1. 全体総括

#### ■基本方針

##### ① 事業の再編・新規立ち上げ

平成 26 年 4 月、東野にて作業体制を変更（内職、自主製品共に毎日の作業）し、工賃支給規定の改正を行った。

平成 26 年 4 月、東野販売所にて、スーパースマイルのパンの販売を開始した。また、出店に合わせてオリジナル商品（野菜を使ったピザ、きなこチュロス）も製造した。

平成 26 年 12 月、配食事業を京都市より新規委託を受けた。スーパースマイルに厨房業務を再委託した。保健所より、スーパースマイル内での調理、加工許可の認可を受けた。

平成 27 年 2 月、東野の販売所を改装し、店舗デザインやディスプレイをムスビデザイン、デザイン大井工房に依頼した。

A 型との機能分化を見据えて、株式会社スマイルと連携した。（通常業務終了後パン工房の使用、PB 商品の開発等）

##### ② 工賃の向上

平成 26 年 4 月、工賃支給規定を改正し、作業毎の時給を設定し、よりメンバーが主体的・意欲的に取り組めるように規定面での整備を行った。

##### ③ 業務水準の向上

毎週木曜日に東野、小山、サロン各スタッフ参加のミーティングを行い、各作業の進捗状況の確認、各担当ケースの情報共有、個別支援計画のカンファレンス等を行った。

京都ノートルダム女子大学の佐藤先生に隔月で事業所に来て頂き、事業所内でケース検討やテーマを絞った勉強会を行った。

平成 26 年 8 月に常勤職員、非常勤職員を各 1 名採用した。新職員については、事業所内での研修や個別のフォローを行い、また外部の研修も活用し、対人援助の基本等を学んでもらった。

##### ④ サロンの事業展開

平成 26 年 9 月より、サロンの定休日の第 3 火曜日にフリースペース「みんなの家大宅」（山科地域福祉推進委員会事業）を開始した。

その他地域に向けた事業を様々実施（※別紙サロン事業報告参照）、地域に密着した事業を展開した。

#### ■活動内容

##### ○運営

・加算の届出（目標工賃達成加算 I、目標工賃達成指導員配置加算、福祉専門職配置等加算、食事提供加算、福祉・介護職員処遇改善加算、食事提供体制加算）

・理事会・評議員会の開催

評議員会

第 1 回評議員会 平成 26 年 5 月 25 日（日）

平成 25 年度事業報告案

平成 25 年度決算案

第 2 回評議員会 平成 26 年 10 月 11 日（日）

役員を選任

今後の事業計画について

第3回評議員会 平成27年3月22日(日)

平成27年度事業計画案

平成27年度予算案

理事会

第1回評議員会 平成26年5月25日(日)

平成25年度事業報告案

平成25年度決算案

第2回評議員会 平成26年10月11日(日)

役員を選任

理事長の互選

理事長職務代理者の指名

今後の事業計画について

第3回評議員会 平成27年3月22日(日)

平成27年度事業計画案

平成27年度予算案

経理規定の改正

・平成26年度京都市社会福祉法人等指導監査の実施 平成27年2月20日(金)

中村会計事務所中村修二税理士立ち会い。

○地域交流、地域貢献

・地域ボランティア清掃を例年通り実施した。

・大宅学区民生委員(女性会、社会福祉協議会)のランチケア・フリースペース、わの会との自主製品作り、オリーブ農園生産会と畑作業等を通じ、各団体との交流を行った。また、福祉を学ぶ学生等のボランティアの受け入れも積極的に行った。

・参加ネットワーク：山科こころの健康を考える会、京都市東部自立支援協議会、京都精神保健福祉施設協議会・広報部会、山科区地域福祉推進委員会、京都社会就労センター協議会。

・音羽中学校チャレンジ職場体験の受け入れを行った。

・精神保健福祉士養成課程の実習の受け入れを行った。

大阪保健福祉専門学校 平成26年10月 1名、平成27年2月 1名

京都ノートルダム女子大学 平成27年 2月 1名

・精神看護学実習の受け入れを行った。

京都第二赤十字看護専門学校 平成26年5月22日 4名、6月9日 4名

・11月によつ葉生産者交流会を開催し、よつ葉ホームデリバリー京滋の山科地域の会員さんと芋ほり等の交流を行った。

・小山にて教室活動、WS年間を通じて企画・開催した。

4月 インドカレー教室

7月 インドカレー教室、天然酵母のパン教室

10月 身近な所から手づくり生活

- 1月 天然酵母を使った3種のパン作り、  
抽出方法による味くらべとコーヒーにまつわる物語
- 2月 真冬のほくほくおまんじゅう作り
- 3月 インドカレー教室 2回

いずれも畑で収穫できる野菜を使用し、交流や畑事業の情報発信の機会を積極的に設けた。

・京都府「ほっとはあと」製品応援事業の工賃向上のためのモデル事業を継続的に実施し、成果報告会を行った。

#### ○施設内

・メンバーミーティング、レクリエーション、給食（東野：月、木、金、小山：月、水、木）、オリーブだより年4回発行等、例年通り実施した。

・行事、出店

	レクリエーション・行事	出店・販売
4月	写生会（下鴨神社）	福祉フェスタ
5月	バーベキュー・スポーツ（日野野外活動センター）	
6月	ぶらりサロン（平安神宮、なごみ） 奈良（東大寺、奈良公園）	福祉フェスタ
7月	バトミントン（だんだん合同）	
8月	カラオケ	山科こころのふれあい夏祭り 和光祭
9月	一泊旅行（昼神温泉）	サンガ山科区民デー
10月	オリーブ農園芋掘り・バーベキュー	ほほえみ広場・ボランティアフェスタ 洛和メディカルフェスティバル ノートルダム学園祭 やったね秋まつり ぐるっとふれあい町フェスタ
11月	京家連ボーリング大会 京家連文化交流会 ぶらりサロン（京都国立博物館、ふらっとスペース）	小山文化祭・嵐山マルシェ 東南フェスタ・みささぎの森
12月	るまんサンクスクリスマス 忘年会	福祉フェスタ
1月	新年会、初詣（毘沙門、山科ブライトンシティ）	報恩講 ふれあい作品展
2月	コココーラ工場見学	やましまるごとマルシェ
3月	スポーツ（日野野外活動センター） ぶらりサロン（円町サロン、まんがミュージアム）	つながるマルシェ 福祉フェスタ

●登録者数 56名（平成27年3月31日時点）

平均年齢 46.0歳

男性 36名（64%）、女性 20名（36%）

●登録 8名

医療機関より紹介	2名
保健センターより紹介	2名
他事業所より紹介	3名
サロン	1名

●退所 4名

利用予定がない	2名
A型へ就労	1名
他事業所利用	1名

●就労 1名

26.4より（23.10登録） 学校法人 関西福祉学園（就労継続支援A型事業所）

●平均工賃

25年度	人数	金額	平均		26年度	人数	金額	平均
4月	38	313,250	8,243		4月	32	263,140	8,223
5月	37	314,495	8,500		5月	37	265,590	7,178
6月	34	261,395	7,688		6月	37	306,340	8,279
7月	33	300,765	9,114		7月	33	297,190	9,005
8月	34	296,715	8,478		8月	34	277,300	8,155
夏期	41	293,000	7,146		夏期	43	260,800	6,065
9月	32	255,395	7,739		9月	36	280,260	7,785
10月	36	275,250	7,646		10月	37	346,280	9,358
11月	35	269,540	7,701		11月	35	298,420	8,526
12月	36	253,000	7,028		12月	33	278,350	8,434
冬期	39	544,900	13,972		冬期	42	598,100	14,240
1月	34	258,315	7,598		1月	34	272,760	8,022
2月	35	259,815	7,642		2月	35	293,580	8,388
3月	38	284,050	7,475		3月	35	343,010	9,800
特別	44	274,200	6,232		特別	42	141,800	3,376
合計	546	4,457,585	8,164		合計	545	4,522,920	8,298

●年間開所日数 253日（251日）

●年間総作業時間 14,154時間（12,891時間）

●1人あたり 月平均作業時間 33.8時間（30.5時間）

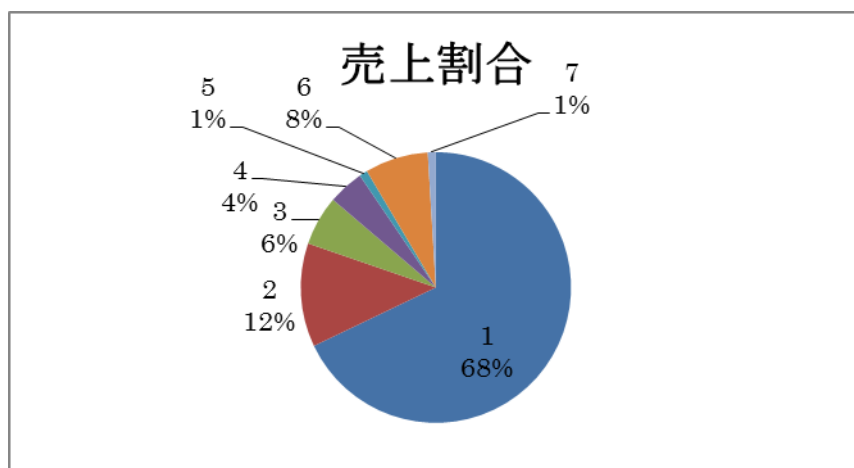
月平均通所日 10.7日（11.3日）

## 2. 就労支援事業

東野にて各作業を毎日行い、メンバーの主体的・意欲的に取り組める環境整備を行った。例年通り、工賃向上計画を策定し、作業場の整理や商品の見直しや新商品の開発等を行った。売上や進捗状況等の報告を定期的に行い、各部門の更なる充実に努めた。

	平成 25 年度		平成 26 年度	
	金額 (円)	構成比	金額 (円)	構成比
年間授産収入	7,504,374	100.0%	7,650,450	100.0%
内訳				
(1) 野菜販売	5,154,852	68.7%	5,194,912	67.2%
(2) 自主製品	981,231	9.0%	946,581	12.4%
(3) 内職	516,097	6.9%	455,587	6.0%
(4) 春日丘	570,000	7.6%	326,000	4.3%
(5) サロン	42,900	0.6%	74,850	1.0%
(6) パン			579,173	7.6%
(7) その他	239,294	3.2%	73,347	1.7%

※その他 ヤマト運輸手数料、飲食出店他



(1) 野菜販売 年間売り上げ 5,194,912円  
仕入代 1,515,162円

小計	月	東野	加工	小山	スマイル	出店	よつ葉	ほっとはあと	やましな	浅川亭	あずき	からしだね	その他	
363,985	4月	59,020	25,520	4,200	27,215	0	194,275	1,320	23,275	7,000	22,160	0	0	
491,818	5月	76,304	20,820	22,670	85,715	0	242,259	13,510	12,100	9,000	7,040	2,400	0	
334,041	6月	116,841	12,190	7,000	94,320	2,100	65,465	7,750	16,465	9,300	0	2,610	0	
687,065	7月	186,775	16,360	71,431	215,955	0	119,979	4,620	17,705	23,650	12,130	5,960	12,500	
587,807	8月	137,329	14,440	29,810	178,160	18,700	132,158	5,750	35,240	17,290	0	4,050	14,880	
424,830	9月	97,790	12,770	15,500	101,850	21,900	141,100	4,840	0	13,350	5,310	0	10,420	
532,044	10月	93,340	15,590	15,220	98,205	115,530	127,864	3,300	43,770	8,625	0	0	10,600	
433,501	11月	66,490	35,930	8,910	52,010	65,550	193,121	4,840	0	6,650	0	0	0	
240,930	12月	48,930	35,850	0	37,372	0	81,638	2,640	25,550	8,950	0	0	0	
283,055	1月	55,040	42,890	21,700	41,625	16,310	75,900	1,980	950	4,600	19,060	0	3,000	
431,660	2月	50,560	60,520	0	42,485	0	261,895	2,420	0	6,060	2,720	0	5,000	
384,176	3月	62,380	87,020	18,540	50,940	37,750	77,756	1,320	12,400	5,650	2,720	0	27,700	
5,194,912	小計	1,050,799	379,900	214,981	1,025,852	277,840	1,713,410	54,290	187,455	120,125	71,140	15,020	84,100	
100.0%	ウェイト	20.2%	7.3%	4.1%	19.7%	5.3%	33.0%	1.0%	3.6%	2.3%	1.4%	0.3%	1.6%	
部門別		東野、小山、スマイル、出店合計					2,949,372	注文合計						2,245,540
							56.8%							43.2%

26年度、小山での畑事業はここ数年続く温暖化による天候不順及びそれに伴った作付の修正がうまくできなかったことと青果の販売において売上を伸ばせなかったことが拍車をかけ、売上目

標の 530 万円を達成することができなかった。

作業の提供としては新しいメンバーなどが多く、作業能力の底上げが必要な年であった。作業の軸を担うメンバーが減少しているなか、新しいメンバーの育成指導・支援に力を入れたことで、着実に新しいメンバーが安定して通所できるようになっており、畑の通所者人数は大幅に伸び、各メンバーの力もついてきている。ただし、育成指導に時間を割かれ、生産効率が落ちたのも事実であり、結果的に売上にも影響がでている部分も否定はできない。しかし、指導・支援に使った時間がメンバーの自己実現を果たす役割となり、畑事業にとってもマンパワーの向上として大きな先行投資であったとも言える。また、人が増えるなか畑の面積が減ったことで同じ作業であれば必然的に作業量が減ってくるため、作業の内容や提供の仕方を検討する必要があるが、これについては 27 年度に A 型の事業に着手すると同時に整理をし、過渡期でもあるこのタイミングで事業や作業提供について随時検討・調整をしていく。また、作付面積の減少に伴う減収についても同時に考える必要があり、加工品での収益をあげたいが、現段階で画期的な計画はたっていない。

作業以外の部分では給食の提供を少しずつ改善し、できるだけ畑で採れた野菜や、原材料に添加物を含まないものを使用するなど、健康志向の給食を提供することで、確実に利用するメンバーが増えており、食を通しての支援をすることができた。また、月に 1 度のヨガや畑で開催しているワークショップに参加するメンバーもおり、それらを通してより主体的に健康について考えることができる支援の提供ができた。その結果少しずつではあるが働く以外の部分についてもそれぞれのワークライフバランスを含めた支援を展開でき、またその漸進となった。

さらにワークショップや芋掘りなどの交流イベント、京都市ごみ減量推進会議、やましな元気プロジェクトなどを通してオリーブホットハウスを知るきっかけや、取り組みに対しての共感を得られる仕組み作りが少しずつできてきていることも大きな収穫である。これについては 27 年度もより発展させ、地域の方・機関との交流を通してオリーブホットハウスが地域に果たす役割についても考えていくと共に、メンバーがただオリーブホットハウスという小さな社会で過ごすだけでなく、広い社会の中にいるのだという認識や、当たり前はその社会の中で多様な交流や価値を見出し、認め合える社会・環境の創生を畑事業を通して取り組んでいけたらと考えている。

## ○東野販売

事業計画通り、東野にて販売を毎日行い、スマイルのパン販売を開始した。売上については、野菜はそれ程大きな変化はなかったが、加工品では焼き芋（鳴門金時、紅はるか）が豊富に東野にて販売できる体制をとれたことにより、とても好評で、売り上げも増加した。パンについては、開始当初はもの珍しさもあってか売上もよかったが、時間が経過するにつれ、落ち着いてきた。パンを販売することだけが目的ではなく、原材料の提供や、オリジナル商品、メンバーが製造作業に従事する等を見据えて開始したこともあり、これらをスマイルと連携のもと達成できるように努める。地域での循環や旬の野菜、地産地消等を意識した見せ方を計画し、それに応じた店舗の改装を実施した。引き続き、見せ方の工夫や販売の方法について、改善していく。出張販売は例年通り行い、新規の販路（春日丘、フリースペース、ふれあい大宅等）についても検討中。時間と人件費をいかに効率良く使えるかが今後課題となる。メンバーが作業をしていくうえで、(困った事・改善したいこと・接客態度・どうしていく事が望ましいか)を販売ミーティングの場を設けて個々の考え方や、思いを聞くことが出来き、販売のあり方などを共有する事も出来た。

(2) 自主製品 年間売り上げ 946,581円 作業時間2717.5時間  
 材料費 135,534円 (シーツ玉入れ材料費含まず)

26年度は自主製品の作業を毎日行うことになった大きな変化の一年だった。26年度の方針の作業の整理・効率化・計画性を重視し取り組んだ。商品について、コンスタントに作成ができ、売り上げを上げているものに絞り、種類の整理を行った。そのため、商品の生産・売上を一つの表にて管理がしやすくなった。また、さをり織りと縫製品を一体として行い、よりお互いの利点を生かした商品も生産することができた。メンバー自身にも縫製とさをり織りの作業に隔たりをなくし取り組んでもらうことを試みたが、毎日通所されるメンバーが少なく、その日によって内職や、野菜販売など作業内容を変えるメンバーも多く、二つの作業に取り組めるメンバーを増やすことは難しかった様に思う。また、確実な授産収入があるフェリシモ生地での作業も思ったほどは伸びなかった。ただ、敬老ショールの仕事は前年度の倍の20枚の仕事を受けることができ、検品、ラッピング業務までを一括して受けることができた。また少しずつながら、よりメンバーが従事できる箇所を増やすことができた。今後引き続き商品の整理を行い、確実な授産収入が見込める商品(フェリシモ生地、シーツ玉入れ、ショール、マフラー)への積極的なメンバーの関わりを促していき、それに伴い作業体制を確立し、環境の整備を行っていく。

シーツ玉入れは月に1枚のペースでの作業を予定していたが、予測よりも多く受注が入り、売り上げも増加したが、作業に従事できるメンバーに限られており、定期的な生産体制を確保することが難しかった。今後急な注文にも対応できるよう在庫を作っておく等の計画的な生産を行っていく。

【年度別 月作業時間】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
25年	106.0	105.5	94	115.5	107.5	89	126.5	156	88	106.5	85.5	93.5	1273.5
26年	209	199.5	247	287	216	211	247	198.5	212	224	218	218	2717.5

26年度＝毎日の作業従事人数は4.6人

【26年度 売上及び占有率】

縫製品	フェリシモ	敬老	シーツS	シーツM	シーツL	シーツLL	出店	ほっとはあと
46,948	137,291	135,852	22,000	80,000	152,000	105,000	192,200	75,290
5%	15%	15%	2%	8%	16%	11%	20%	8%

(3) 内職 年間売り上げ 455,587円 作業時間4335.5時間

26年度、初めての取り組みとして毎日の作業を行った。毎日の作業により通所日が増えたメンバーもいた。さらに新しいメンバーに間口を広げることができた。どのメンバーも取り組めるようわかりやすい内容と、さまざまな段階がある作業を分業して提供した。体調に合わせた作業を無理なく進められるよう配慮や工夫を行った。

作業について、鳴津からの仕事は週1～2回頂いている。楽しみに待っているメンバーが複数お

り、集配に協力しながら頂ける間は続けていく。大曜の袋折りは作業日が増えたことで仕上げを急ぐ物を引き受けられるようになった。今年度も途切れることなく仕事を頂けた。フェリシモから惑星をモチーフにしたビーズ玉作りを依頼された。焼き固める粘土を使用する物で11月より4～5名のメンバーが3回のシリーズで進めていたが、3回で終了。工賃が高く、こちらのペースを優先して頂けるので、今後の新しい取り組みに対しても積極的に引き受けていく予定。

毎日作業を行ったので作業時間は増えたが、売り上げは思うように上がらなかった。岡田紙工所からの仕事が5月以降なくなったことが大きな原因である。売り上げを上げるためと作業への意欲減退を防ぐために京都市が推進している共同受注を積極的に受け入れた。納期は短いが高単価の良い仕事であった。急ぎの物を進めていくうちに、作業内容の振り分けや変更をメンバーが主体的に行うよう変化していき、作業に意欲的に取り組むメンバーの姿が見られた。月、水、金は通所するメンバーが多いので作業はよく進み活気があり、火、木は少人数で落ち着いた雰囲気の中で作業が行われている。また、自分の症状や悩みについて作業をしながらメンバー同士の話しが続く日があり、作業場ではあるが情報交換、共有の場にもなっている。途切れない作業を提供しながら、より単価の高い作業を常に探していきたい。

25年度				26年度			
	売り上げ	作業時間	平均人数		売り上げ	作業時間	平均人数
畳紙	433,785	2,199	12	畳紙	195,853		
大曜	82,312	1,626	9	大曜	104,208		
<b>合計</b>	<b>516,097</b>	<b>3,824</b>	<b>11</b>	その他	60,000		
				フェリシモ	95,526		
				<b>合計</b>	<b>455,587</b>	<b>4,336</b>	<b>7.6</b>

(4) 春日丘 年間売り上げ 326,000円 作業時間652時間

週3回 月、水、金 午後1時30分～3時30分 1回 2名

安定したメンバー派遣ができ、10月から一人増え5人体制で進めている。作業の継続により効率よく作業が進み、空いた時間で洗面台の清掃や布団のカバーかけ他の作業を行った。毎回メンバーから報告を受け、無理のないよう常に声掛けを行い、半年に1回のミーティングで作業内容の確認と情報の共有をした。また、春日丘へも定期的に訪問し、作業内容やメンバーの様子について、ヒアリングを行った。作業の継続は一般就労へのステップの目安になりやすく、自己管理能力を養いメンバーの自信に繋がっている。今後も新しいメンバーの育成に取り組んでいきたい。

(5) サロン 年間売り上げ 74,850円 作業時間260時間

月、水、金の週3日掃除、接客、喫茶作業を2時間担当してもらった。サロンスタッフの昼食時に一人で引き受けられるメンバー2名が育った。今年に入りサロン作業を希望するメンバーが増え、現在は5名が2時間ずつ担当し月、水、木の午前と月、水、金の午後にシフトを組んだ形で従事している。臨機応変な対応やシフト制への対応力等を養ってきている。今後もサロンスタッフと連携をとりながら進めていきたい。